

**製品名: IL18 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21579**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:22kD;Observed MW:22kD

**抗原情報**

遺伝子名	IL18
別名	IGIF IL1F4
遺伝子 ID	3606.0
SwissProt ID	Q14116
免疫原	ヒト IL18 の組み換えタンパク質

**背景**

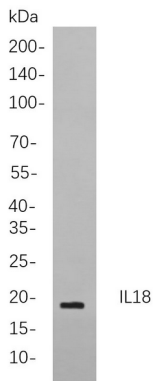
細胞局在: 細胞質。この遺伝子によってコードされるタンパク質は炎症性サイトカインであり、脾臓細胞におけるナチュラルキラー細胞の活性を増強し、I型ヘルパーT細胞におけるインターフェロン $\gamma$ 産生を刺激する。この遺伝子には、異なるアイソフォームを

コードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかった。[RefSeq提供、2011年8月]

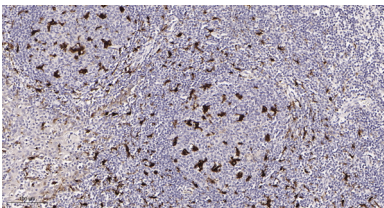
## 研究分野

-

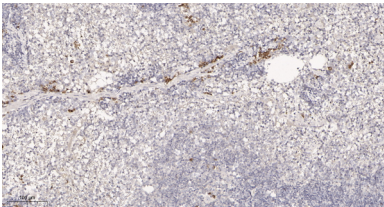
## 画像データ



A431細胞のライセートのウェスタンブロット解析。IL-18 ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。1、IL18 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋マウス脾臓組織の免疫組織化学分析。1、IL18 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。